

(共催 学校臨床研究会・「非行・メンタルヘルスの包括的アセスメントツールの開発」プロジェクト)

## 学校現場における新しいツールの活用

日時 2006年5月27日(土) 15:00~17:00

場所 お茶の水女子大学生生活科学部本館210

(丸の内線茗荷谷駅より徒歩7分、有楽町線護国寺駅より徒歩8分)

今回は、アメリカのスクールカウンセリング分野で活躍されているゲスト・スピーカーをお招きし、アメリカのスクールカウンセラーの現状をお聞きしたうえで、「MEASURE」という新しいツールを用いたスクールカウンセリングの展開についてお話いただきます。さらに、お茶大側からの発表「メンタルヘルス・非行ノ学級風土の包括的アセスメント・ツール」(発表 青木紀久代・伊藤亜矢子)についても、ゲストの先生方にコメントを頂戴する予定です。

ゲスト・スピーカーは、米国スクールカウンセリング協会次期会長Carolyn Stone教授(ノースフロリダ大学)と、その共同研究者であるCarol A.Dahir博士(ニューヨーク工科大学)です。同じく共同研究者の瀬戸博士(ニュージャージー大学)が、通訳などサポートしていただきます。先生方は、「MEASURE」というスクールカウンセリングの評価方法を開発しておられます。

.....小講演 .....

Carolyn Stone氏

ノースフロリダ大学 教授

米国スクールカウンセリング協会次期会長

「米国におけるスクールカウンセリングの現状」

.....小講演 .....

Carol A.Dahir氏

ニューヨーク工科大学

「スクールカウンセリングにおけるMEASUREの活用」

.....小講演 .....

青木紀久代・伊藤亜矢子

お茶の水女子大学助教授・お茶の水女子大学助教授

「学校現場での包括的アセスメントツールの活用」

司会・コメント 伊藤亜矢子 お茶の水女子大学生生活科学部助教授  
通訳 瀬戸淳子 ニュージャージー大学

資料代 500円

共催 お茶の水女子大学 学校臨床研究会

問い合わせ・申し込み先(メールでお願いします)

学校臨床研究会 yumetani0514@yahoo.co.jp

当日参加歓迎